

蕨 広報WARABI 5

2007/平成19年

わらび・665

平成19年5月1日発行 / 発行所・蕨市役所

<http://www.city.warabi.saitama.jp>

蕨市の面積 5.10km²

4月1日現在人口：70,938人 前月比 +132人

男 36,299人 女 34,639人

世帯数：34,070

人口密度：13,909人 / km²



子どもの健やかな成長 願う大空のこいのぼり

北町3丁目のみどり保育園園庭では、元気に遊び回る子どもたちを見守るように、まごいやひごいが楽しそうに上空を泳ぎ、近所の人気を呼んでいます。毎年5月の「こどもの日」にちなんで泳ぐこいのぼりの姿には、笑顔いっぱいの子どもたちがよく似合います。

目次

介護老人保健施設.....	2
350回目の雑感.....	3
新しい文化財の紹介.....	4
蕨いまむかし.....	4
まちの話題.....	5
情報ダイヤル.....	5
障害者の相談窓口.....	6
子どもクラブ.....	7
小さな旅.....	8

特集：充実した高齢者福祉のために

安心の介護へ老人保健施設 来年春の完成に向けて建設工事着工



外観図

市が土地を提供し、民間の医療法人が建物の建設と運営を行う、「介護老人保健施設」の工事が始まりました。安心の介護に向けて、完成が待たれます。



蕨市に住む65歳以上の高齢者は、4月1日現在で、1万3350人います。人口7万938人に占める割合は、18・82%で、県の平均約17%に比べて高く、約5人に1人が高齢者という状況です。

高齢者人口の増加とともに、寝たきりや認知症で介護を受ける人も増えていくと考えられ、これまでに以上に介護サービスの充実が求められています。

市ではこうしたなか、高齢者の皆さんが健康で安心して暮らせるように、老人保健福祉計画・介護保険

介護や健康事業進めて 高齢者の暮らし安心へ



どんな運営を目指すのか

医療法人社団東光会
戸田中央総合病院

なかむら たけし
中村 毅 院長

皆さんが満足できる施設に

入所された1人1人の能力に応じながら、機能の維持・向上を促し、自立した日常生活が送れるように援助していく介護老人保健施設は、今後、ますます重要視されます。施設の運営に当たっては、蕨市とじゅうぶんに協議をしながら、入所はもちろんのこと、通所のリハビリにも力を入れ、皆さんに満足していただける介護老人保健施設にしていきたいと思っています。

事業計画」を3年ごとに策定し、福祉施策の指針を定めています。現在、第3期の計画の下で、訪問介護や通所介護などの介護サービスを行い、また、元気な高齢者を対象にした介護予防のびんしゃん体操を開くなど、各種事業を進めています。

**市民の要望にこたえて
民間活力導入で施設を**

こうした事業を展開していくなかで、検討事項の1つになってきたのが、介護老人保健施設の整備事業でした。同施設は、北町5丁目の蕨サンクチュアリのように長期の蕨サンクチュアリと違い、居宅生活

雑感

市長 田中啓一

市長に就任してから、毎月1回欠かさず続けてきたことが、2つあります。1つは、毎月第1木曜日の「市民の皆さんとの面会日」、もう1つは、この「雑感」を広報紙の片隅をお借りして、掲載してきたことです。

どちらにも、市長任期が31日で満了となりますことから、今月で閉じさせていたくなくにしました。長い間の「支援」愛読、ほんとうにありがとうございました。

市民の皆さんの「支援」に「ありがとう」の350回

育問題、平和の尊さ、賢者の教えなど、その範囲はあらゆること及びました。これといった文才のない私が、毎月四苦八苦しなから、こうして今回まで続けてこられましたのは、市民の皆さんの励ましと、直接あるいは手紙やメールなどでいただいたご意見、情報などのおかげです。お礼を申し上げますとともに、ここまで続けられたことを感

市長 田中啓一
市会 11月10日
市面 毎月10日
木曜日、今月6日は休み
だし、11月10日午後1時～3時、市長室、気軽にお出かけください。

お待ちしております

蕨市役所
秘書広報課広報広聴係

〒335-8501 蕨市中央5-14-15
TEL 433・7703 FAX 445・0586
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

「広報蕨」へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お待ちしております。

安心介護にひと言

市民サービスを最優先に考えて

市の考えを基に、蕨市民もお世話になっている戸田中央総合病院が経営すると聞いて安心しました。単に民間活力導入と聞くと、「利益を優先し、サービスが行き届くのか」という不安が多少なりありますからね。



高橋 健蔵さん
塚越3丁目

将来のことを考えて心強い施設

だれしも年を重ねると体調をくずしたり、病気になったりしがちです。公民館活動を通じ、私も健康づくりを心がけていますが、いざというときのことを考えると、こうした老人保健施設があるのは心強いです。



岡田 禮子さん
中央4丁目

施設概要をご紹介しますと、建物は、鉄骨造り5階建てで、正面入り口は国道17号寄りにあります(2階上)ご紹介しているのが、介護老人保健施設の外観です。1階には、日常生活訓練が受けられるリハビリ施設があります。また、通所による利用者のリハビリをはじめ、入浴などが受けられる事業も定員40人で行う計画で、スペースを確保しています。療養室は2階から4階までで、各階50床あり、4階は、認知症の専門棟となっています。また、150床ある療養室のうち、76床がプライバシーや住環境に配慮した

個室になっています。建物の完成は来年の2月で、機材の搬入や看護・介護の職員、理学療法士などを配置して、4月から、施設の運営を開始する予定です。

加速する高齢化に備え 今後も福祉施策充実を

この介護老人保健施設が完成しますと、安心の介護保険サービスが、また一歩前進しますが、高齢化の進行とともに、福祉施策に対する需要はますます高まるものと予想されます。市ではこうした状況をしっかりとらえるとともに、高齢者の皆さんが、安心して、心豊かに暮らせるよう、今後も介護保険の適正な運営と福祉サービスのいっそうの充実に取り組んでいきます。

への復帰を目標としたものです。市内にはまだ施設が1つもないため、介護保険の利用者からは、「早く施設を造ってほしい」との声をいただいています。しかし、市の財政状況が厳しいなかで、建物を造り、維持管理してい

くのはたいへん困難を伴うことから、新たな方法として、市の土地を有償で貸し、民間の事業者が建物の建設と運営を行う、民間活力を導入して事業を進めることにしました。そこで昨年度は建設場所となる旧市民プールの解体工事を行い、3月

療養室150床のほか 定員40人の通所介護も



金龜山極楽寺三学院
(北町3丁目)



レポート そこが知りたい

46



文化財巡りのレポートに姉弟でチャレンジ
後藤真生さん(左)と優生さん(錦町在住)

新たな文化財巡り 蕨の歴史学ぶ

蕨の歴史を語り継ぐ上で貴重な建築物や史跡などを後世に残そうと、市では専門家の調査や意見に基づいて、これまでに蕨本陣跡や渋川公墓など、27の文化財を指定しています。今年3月、新たに5つを指定しました。その内1つは、市内初の天然記念物です。そこで今月は、錦町に住む小・中学生の姉弟が、新たに指定した文化財をレポートします。

市内初の天然記念物 フジの花を一般公開

最初にやって来たのは、北町3丁目の金龜山極楽寺三学院です。仁王門をくぐり、左奥へ進むと、柵越しに大きなフジ棚(下写真①)が見えます。このフジの木の幹周りは約33メートルです。

住職の倉持秀裕さんによると、木を植えたのは、昭和25年ごろです。推定で樹齢100年以上と考えられています。市では第1号の天然記念物で、28番目の文化財です。

フジの花は、同院内にある幼稚園の園庭にあるため、あまり知られていませんが、今回の指定を機に、見ごろとなる今月3日から5日までの午前9時から午後4時に限り、一般開放されるそうです。

また、本堂に向かって右側にある、高さ2・77メートル、幅、奥行きともに1・62メートルの木食

観正塔(写真②)も指定されました。木の美などを食べ、修行をされたという木食観正が、蕨を訪れた1820年(文政3年)の翌年に建てられました。県内では現在のとこ、川口市にある善光寺と、三学院の2か所しか確認されていないそうです。

天神様と稲荷様記る 3か所の本殿を巡る

次は市役所通りに面した和楽備神社です。鳥居をくぐり、左側に見えるのが和楽備神社末社の天神社(写真③)と稲荷社(写真④)の本殿です。文化財保護審議委員会の先生

の話では、学問の神様、菅原道真を祀る天神社本殿(縦1・15メートル、横1・03メートル)は、江戸時代の初めに、赤く塗られた稲荷社本殿(縦1・23メートル、横1・12メートル)は、江戸時代の中ごろに造られたそうです。

明治44年の合祀(2柱以上



の神を1つの神社に祀ること(のと)に、本殿を現在の場所に移しました。

また、塚越3丁目の塚越稲荷社の本殿(写真⑤)も、文化財に指定されました。江戸時代中ごろに造られたといわれ、本殿(縦0.9メートル、横0.77メートル)は、高台に建てられた覆い屋といわれる建物の中にあり、保存状態もよいです。

歴史を知る文化財を 今後も訪ね学びたい

3月に新しく指定された5か所の文化財を見て来ました。少し難しかったけど、住宅に囲まれた蕨にも、貴重な建物や天然記念物があり、そして1つ1つに歴史が詰まっていることを知りました。機会があったら、また、勉強してみたいです。



蕨 いま むかし

図書館の 移り変わり

図書館は、昭和26年8月7日、中央公民館に児童図書館が併設されて出来たのが最初です。そして、34年の市制施行を機に、市立図書館を造ることになり、40年9月、市役所隣にあった旧水道庁舎2階に開館しました。当時の蔵書は1700冊でした。

その後、建物の老朽化などにより、蕨駅西口駅前通り沿いの長泉院隣(駅から約800メートル、中央5丁目)に、図書館は移転しました。旧武蔵野銀行蕨支店を譲り受け、建物を改造して、昭和49年11月1日に開館しました。

昔の写真が、その移転後の図書館です。建物は2階建てで、1階には本の貸し出し室のほか軽読書コーナー、2階には、調査や研究などができる閲覧室を設けました。蔵書も約2万2000冊に増えて、読書が楽しめるようになりましたが、市民の学習意欲の高まりのなかで、図書館の更なる充実を望む声が年々多く寄せられるようになりまし



情報ダイヤル

掲載は無料です
図書館広報課 ☎433-7703

【仲間になりませんか】

旭・ニューエルダンスクラブ(社交ダンス) 土曜日 午後7時 旭町公民館 初心者 月2,000円<湯沢・☎431-2524>

シャレード(社交ダンス) 月3回土曜日 午後7時 下蔵公民館 月3,000円<樋口・☎443-2407>

南スポーツダンスクラブ(社交ダンス) 金曜日 午後1時半 南公民館 月2,500円 1か月無料講習あり<相川・☎431-2616>

SKKD研究会(社交ダンス) 月曜日 午後1時半 南公民館 月2,000円 女性歓迎<平井・☎444-4655>

火曜会サザンカ(社交ダンス) 火曜日 午後7時 西公民館 月2,000円<久保田・☎431-3628>

新舞踊あじさいクラブ 月曜日 午後1時半 中央公民館 月2,000円 随時見学可<渡辺・☎431-6944>

シルビアダンス(社交ダンス) 木曜日 午後3時 旭町公民館 月2,000円 随時見学可<旭町公民館・☎432-4053>

ストレッチ体操クラブ 火曜日 午前10時 東公民館 月1,500円<針谷・☎445-8947>

ヨガでさわやか 月3回日曜日 午前10時 中央公民館 月1,500円<根津・☎443-1656>

蕨リトルリーグ(硬式野球) 土・日・祝日 午前9時 新荒川大橋運動場 小学生 低学年は月3,500円 高学年は月4,500円<米澤・☎090-5327-7646>

蕨シニアリーグ(硬式野球) 土・日・祝日 午前8時半 荒川総合運動場 中学生 月10,000円<斉藤・☎444-0004>

彩友会(油絵) 金曜日 午前10時 旭町公民館 月2,000円 初心者歓迎 随時見学可<旭町公民館・☎432-4053>

【差し上げます】

①5月人形 よろい・かぶとなど3段飾り 38年前に購入 ②ひな飾り 7段 40年前に購入 取りに来てくれる人<田中・☎444-6529>

全自動洗濯機 容量6^{kg}。3~4年使用 取りに来てくれる人<高橋・☎080-6628-7484>

【譲ります】

パイプベッド2個 組み立て式 高さ130^{cm}×長さ200^{cm}(大人用シングル)重ねると2段ベッドとして使用可 半年間使用 1個5,000円で できればセットで購入を<栗田・☎443-7517>

【ご相談ください】

蕨断酒新生会(酒害相談) 9日=南公民館 17日=旭町公民館 6月5日=中央公民館 午後6時半<岡田・☎441-3172>

お花見会で交流深める



4月6日、錦町児童館でお花見会が開かれ、日ごろ同館を利用して親子70人が交流を深めました。暖かな日差しの中、読み語りボランティア、おはなしくまさんによる紙芝居や手遊びを楽しんだほか、満開の桜の木の下で、お握りやサンドウィッチをほおばりながら、参加者たちは会話にも花を咲かせました。

ルールを学び安全運転



最近、自転車による交通事故が増えているため、蕨警察署と交通安全対策協議会は、4月15日、南町の大荒田交通公園で、「自転車運転講習会」を開きました。乗車前の車両点検や、乗車中の注意点などを聞いた後、参加した150人の市民は実際に運転して、交差点での左右確認などを行い、交通ルールを学びました。

フランス人が南小訪問



市民の国際交流を進める蕨エルドラド姉妹都市協力会と交流のあるフランスのリエールとアラス両市民42人が4月13日から17日まで蕨に滞在し、16日に南小学校で児童たちと触れ合いました。一行は1年生を迎える会を見学した後、2年生とこまやお手玉などで遊んだり、給食をともしたりして楽しい時間を過ごしました。

母の日に感謝の贈り物



今日13日の母の日を前に、4月21日、福祉・児童センターで、「母の日プレゼント作り」が開かれました。参加した12人の子どもたちは、お母さんへの感謝の気持ちを胸いっぱい、パンジーやバーベナなど、色鮮やかな押し花で飾られた、しおりとティッシュ入れを作り、メッセージを添えて、プレゼントにしました。

県議に福田秀雄氏当選



4月8日に埼玉県議会議員選挙が行われ、福田秀雄氏(中央5丁目在住)が当選されました。立候補者は現職だった奥田昌利氏と、元蕨市議会議員の福田氏で、即日開票の結果、福田氏1万1769票、奥田氏1万639票でした。当日の有権者数は5万5906人、投票率は41.17%。任期は4月30日から4年間です。

まちの話題



期待にこたえられる図書館にしよう、市民参加の懇談会を設け、ご意見をお伺いしながら、市制施行20周年の昭和54年に、今の図書館(南町1丁目)を造りました。
今の写真は、現在の図書館です。蔵書は、市役所の隣にあった当時の図書館と比較しますと、100倍以上の約17万5000冊となり、年間の貸し出し数も多く、約30万5000冊に上っています。

悩みや不安まず相談 総合社会福祉センター 障害者の相談窓口

市民福祉の拠点、総合社会福祉センターには、障害者の皆さんの自立を応援する相談窓口があります。仕事や日常生活でお困りのことがありましたら、気軽にご相談ください。専門のスタッフが親身になってお受けします。

親と子の
ニュースの
小窓



1人で悩まずささいなことでも相談を

ワラビ あつ、お隣のA子さん。お兄さんとお出かけ？

A子さん 総合社会福祉センターに行ってきたのよ。障害者相談窓口に用があつてね。

ワラビ 相談窓口？

A子さん ええ。私たち障害者が地域のなかで、健常者と同じように暮らせるように、昨年、障害者自立支援法が作られたでしょ？私も障害者の自立について、もっと積極的に考えてみようと思ったの。

ワラビ そう。行ってよかつたって顔に書いてあるよ。

A子さん ええ。将来への不安や就職についてなど、こんなこと聞いたら恥ずかしいと

思っていたことでも、親身になって聞いてくれたわ。

ワラビ よかつたね。

A子さん そうなの。身体・知的・精神障害の区別や、年齢にいつさい関係なく、障害者ケアマネジャーや、障害に関する知識の豊富なスタッフが、相談ごとや知りたい情報などに応じてくれるのよ。

ワラビ でも、毎回窓口まで行かないといけないの？

A子さん 直接の面談（予約制）じゃなくても、電話での相談やフアクシミリ、Eメールで聞きたいことを送ってもいいの。それに場合によっては訪問もしてくれるそうよ。

皆さんのご希望に沿った形でサポート

お母さん ワラビから聞いたんだけど、A子さん、総合社会福祉センターで相談したら自分に合った仕事が見つかりそうだって…。

お父さん 自立した生活を考えているんだね。偉いなー。

お母さん そうね。総合社会福祉センターでは、仕事の紹介だけでなく、仕事に就くための職業教育が受けられる就

労支援センターもあつて、仕事に慣れるまで、サポートもしてくれるんですって。

お父さん 長く続かない場合もあるってことか。仕事を続けるには、会社の人たちの理解が必要な面も出てくるね。

お母さん 話だと相談窓口では、市役所や保健センター、ハローワークなど、関係機関との連携はもちろん、事業所



ドリーマ松原では手工芸を通して楽しくリハビリを行っています

や学校、地域などにも働きかけて、日常生活を楽しくいきいきと暮らせるように力になってくれるそうよ。

お父さん 学校生活にしても地域にしても、障害のある人たちからすれば、私たちになかなか分かってあげられない苦労があるはずだからね。

専門家のアドバイスが必要となってくるわけだ。

お母さん 障害のある人たち

への理解を深めることはもちろん、困っている人がいたら相談窓口のことを教えたいわ。

お父さん 障害者を特別扱いすることなく、いっしょに仲よく暮らせる社会が大事だね。

障害者相談窓口（総合社会福祉センター内2階）

受付 月～金曜日の午前9時～午後4時 ☎432・6829 ☎441・5405
Eメール・warabi_s_sou dan@yahoo.co.jp



花を育て自然と触れ合う 子どもクラブ

にし
ネイチャーキッズ

4月中旬、老人福祉センター松原会館中庭に赤や白、黄色などのチューリップがみごとに咲き、利用者のお年寄りの目を楽ませていました。このチューリップを育てたのは、西公民館の自然体験教室ネイチャーキッズに参加した24人の子どもたちです。11月に100個以上の球根を植え、水やりや草刈りをして5か月後に開花を迎えたのでした。このネイチャーキッズは、昨年5月から今年2月までに10回開かれ、子どもたちは土にまみれての野菜作りやセミの羽化観察、冬はたき火でサツマイモを焼いて食べました。都市化されたまちの中で、自然との触れ合いは、みんなの心も温めています。

申し込み電話で保健センター

4回1コースです。
5月16日(水)
6月6日(水)
7月4日(水)
8月1日(水)
時間=午前10時~11時半
対象=平成19年1月生まれの第1子とそのママ
ところ=保健センター
定員=先着15組

エンジョイママクラブ
育児不安のあるママたちのクラブです。

とき	対象地域
22日(火)	北町、中央5-7丁目
23日(水)	塚越
24日(木)	錦町、中央3-4丁目
25日(金)	南町、中央1-2丁目
予備日/6月14日(木)	全域
受付時間	=午後1時半~2時半
ところ	=保健センター
持ち物	=記入した予診票、母子健康手帳
次回	=10月ごろ行う予定です

予防接種ポリオ生ワクチン
受ける前に、冊子『予防接種と子どもの健康』を必ずお読みください。体温は、当日会場で計ります。対象=平成18年生まれの子(2回の接種が済んでいない子)対象年齢を過ぎてても、90か月未満まで受けられます。その他の予防接種は、お知らせ版3ページを御覧ください。

とき	内容
5月6日	妊婦科健診・保健
1 7日(月)	4日(月)
2 14日(月)	11日(月)
3 19日(土)	16日(土)
時間	=いずれも午後1時半~4時

両親学級
3回目は土曜日です。ぜひお父さんもご参加ください。持ち物=テキスト代400円、母子健康手帳、筆記用具
事前に申し込みが必要です。

赤ちゃんメモ
(問)保健センター (☎431・5590)

申し込んでください。

都合のよい1日を選んで事前に

とき	対象	内容
11日(金) 30日(水)	平成19年1月生まれの第1子の保護者	離乳食の上手な進め方と作り方
6月5日(火) 28日(木)	平成19年2月生まれの第1子の保護者	
時間	=午前9時45分~11時45分	
ところ	=保健センター	
託児	=可能ですが先着10人までです。第2子以降のかたはご相談ください。	
持ち物	=母子健康手帳、筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスタオル、ビニール袋、オムツ持ち帰り用)ほかに必要な物	

離乳食講習会

とき	対象児	受付時間・ところ
4 8日(火) 9日(水)	平成18年12月生まれ	午後1時15分~2時 保健センター
1 29日(火) 30日(水)	平成17年10月生まれ	
3 11日(金) 18日(金)	平成16年4月生まれ	
4 17日(木)	平成14年10月生まれ	
1 8日(火) 9日(水)	平成18年4月生まれ	午前10時~10時半 保健センター

乳幼児健康診査・相談
持ち物=母子健康手帳、問診票
対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

新生児・産婦訪問指導
対象=赤ちゃんが生まれてから4か月児健診の前月まで受けられます。(第2子以降のお子さんも可)

保健師・助産師による
・赤ちゃんの身体計測
・育児や育児についての相談
・お母さんの産後の相談

赤ちゃんメモ
(問)保健センター (☎431・5590)



優しさの「環境行動」

紙を再利用しはがき作り
「捨てればごみだけ、まだ使えるんだね」「おじいちゃん、おばあちゃんにお手紙出そうかな」と、牛乳パックを溶かして作ったはがきを見て喜ぶ子どもたち。南公民館

4月6日に開かれたサイエンス教室「牛乳パックからはがきを作ってみよう」のひとこまでです。
挑戦したのは小学2年から4年生の5人で、先生の指導の下、適当な大きさにちぎったパックと水をミキサーにかけ、出来たパルプ液をすき杵に流し、まだらにならないよう「ソーッと」何回も持ち上げて紙をすきました。
初めての体験で「ちよっぴり緊張したけど楽しかったよ」と言う子どもたちは、紙の再利用を通して、資源のたいせつさと、科学のおもしろさを身近に感じたようでした。

「春香は、音楽に合わせて踊るリトミックをはじめ、おばあちゃんと社交ダンスを習うなど、体を動かすことが得意な活発で明るい子です。家では、小学3年生の響お姉ちゃんと遊ぶことがなにより好きで、縫いぐるみを使ったりまごやゲームに夢中です。」



わが家のアイドル

春香ちゃん
(3歳11か月)
石山 明さん
由紀さん
の二女
中央1丁目

慕っているお姉ちゃんといっしょだと、私がいなくても少しの間なら、お留守番もできるようになりました。最近はいろいろな言葉を覚えてきて、我が家はますますにぎやかです。これからも元気にまっすぐ成長してほしいですね」と笑顔で話す母親の由紀さん。

輝いていま **ひと**

外遊びを考える会「どろんこの王様」代表

新妻 朋子 さん



遊びを通じて豊かな経験を

子

どもたちが、自然の中にある物や道具を使っ

て自由に遊び、遊びを作り出す喜びを知ってもらうことが目的の遊び場「プレーパーク」が、最近注目されています。遊びの中には、ロープ遊びや木登りなど、けがが心配なものもありますが、「自分の責任で自由に遊ぶ」がプレーパークのモットーです。

今月は、そんな遊び場作りを廠にも広げたいと、目を輝かせている「外遊びを考える会・どろんこの王様」代表の新妻朋子さん（錦町2丁目・37歳）をご紹介します。新妻さんがプレーパークを

知ったのは、3年前のある講演会でした。それまで、公園というと、安全を優先するため禁止事項が多く、子どもたちが思い切り自由に遊ぶことができないものとあきらめていました。聞いたときはカルチャーショックを受けました」と振り返ります。ぜひ廠にもプレーパークを作りたいたいと思い、友人と相談して昨年11月に同会を結成しました。そして、今年3月に、西公民館と共催で、地域のお父さんの協力をいただきながら、錦町6丁目のちびっこ広場で1日だけのプレーパークを開きました。「子どもたちは夢中になって、タイヤブランコやターザンロープなどの手作り遊具で遊んだり、廃材を工作したりして遊びました。自分の4歳の息子も参加しましたが、工作した台を持ち帰り、ずっと大事に使っています」と、新妻さんの笑顔は絶えません。「幅広い年齢の人が集える常設の遊び場作りが夢ですが、まずは、多くの人にプレーパークのよさを知ってもらいたいです」と、今月27日から全4回の勉強会を西公民館で開きます。「いっしょに遊び場作りをしてみませんか」と、呼びかける新妻さんです。

ぷらっと・わらび・小さな旅



わらびの野鳥・虫・草

アリアケスミレ

4月10日、錦町5丁目で、道路の縁石を囲むように生えるアリアケスミレを見つけました。市内を散策するとほかの場所でも見られますが、スミレ科スミレ属の多年草で、葉は長さ2〜7センチの細長い楕円形です。3月〜5月には、根元から伸びる細い花茎の先

に、1〜2センチの花弁5枚を左右対称に広げた、スミレ属に特徴的な形の花を付けます。白い花弁に入った紫色の筋の濃淡で、白い花から紫に近いものまでありますが、その変化に富んだ花の色を、徐々に明けていく夜明けの空の色になぞらえて、夜明けごろを意味する「有明」の名前が付けられたといわれています。春らしい明るさを持った野の花です。

消防署塚越分署

今年1月から3月末までに、市内で4

件の火災が発生しました。昨年の同時期に比べ6件減っていますが、火災が身近で重大な災害であることに変わりありません。そこで、火災を予防し、市民の生命や財産を守る消防活動をするのが消防署です。今月は、ぷらっとわらび東ルート18番目の「塚越1丁目」近くにある消

防署塚越分署をご紹介します。現在の分署の場所は、前身の東口出張所跡です。当時は消防ポンプ車1台、職員7人でスタートしました。

その後、昭和50年4月に塚越分署と改称すると同時に、鉄骨造2階建ての新庁舎を落成し、また、同年6月には、救急車を配備して、救急業務も開始しました。現在は、火災にいち早く対応できる水槽付き消防ポンプ車で市内全域を守る警防隊と、搬送中に高度な救命処置が行える高規格救急車で塚越と南町を担当

